

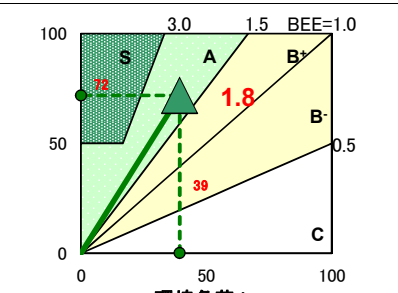


1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2017年11月	竣工		持ち込み家電等	確定
建設地	横浜市保土ヶ谷区天王町一丁目			外構の仕様	確定
用途地域	近隣商業地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造(枠組壁工法)	確定	評価の実施日	2017年7月20日	
階数	地上2階		作成者	高橋 純	
敷地面積	115 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2017年7月20日	
建築面積	78 m <sup>2</sup>	確定	確認者	高橋 純	
延床面積	154 m <sup>2</sup>				
世帯人数	6	仮			

### 2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

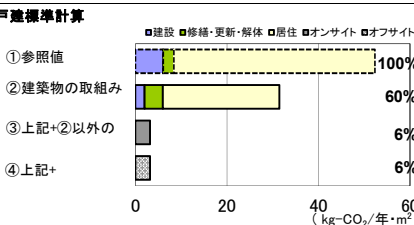


環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

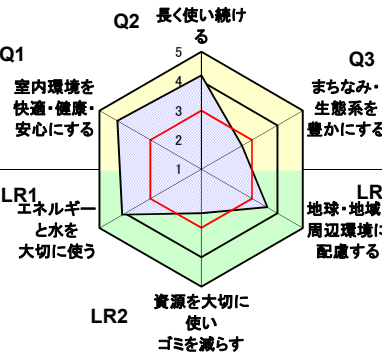
☆☆☆☆☆

戸建標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

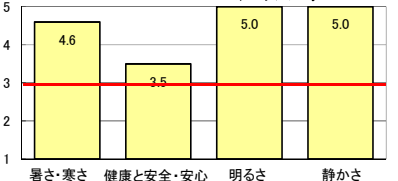
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

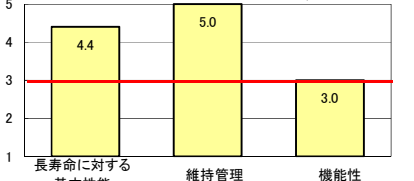
##### Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 4.3



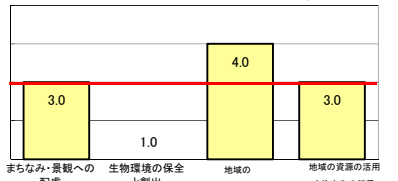
##### Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 4.2



##### Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

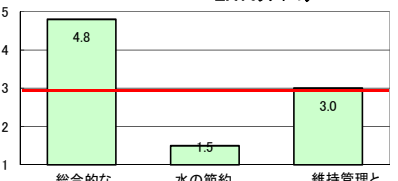
Q3のスコア = 2.6



#### LR 環境負荷低減性

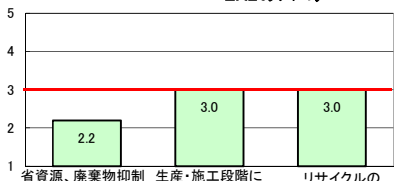
##### LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.1



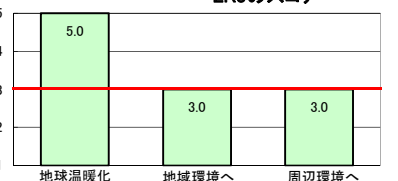
##### LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 2.5



##### LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 3.6



3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 設計住宅性能評価書・長期優良住宅の認定に適合する住宅とし、環境品質・環境負荷低減に配慮した計画とする。		
<b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> 熱抵抗の高い断熱材・Low-E複層ガラスを採用する。すべての居室において通風・排熱を促進する平面計画とする。ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ない建材を採用する。開口率の確保及び居間・寝室の有効採光面積を南面の窓で確保する。	<b>Q2 長く使い続ける</b> 構造躯体等に劣化対策を施し、外壁・屋根の仕上げは耐用年数の長い材料を使用し乾式工法とする。維持管理のガイドラインを作成する。	<b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> 配置・外壁と屋根の色彩等を周辺まちなみに調和させる。建物から道路境界線までの離隔距離を1m以上確保する。
<b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> 太陽光発電パネル屋根・IHクッキングヒーターの採用する。	<b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b>	<b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> 建物敷地は従前の地形を改変せず、表土を概ね保全している。



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

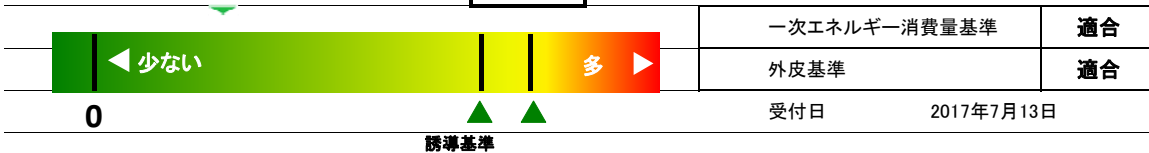
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 71 %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①太陽光発電によるエネルギーの削減。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

④日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当。

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策における等級3を満たしている。

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥すべての居室において通風・排熱を促進する平面計画

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **4**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧日本住宅性能表示基準「1-1耐震等級」における等級3を満たしている。

⑨建物から道路境界線までの離隔距離を1m以上確保等。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

##### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

##### エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄熱設備